

熊本SJCD抄録

発表者 川口 孝

発表日 2015年 6月 23日

タイトル Two Approaches to Lateral-Incisor Missing

キーワード 先天性欠損 矯正治療 e-max 低位口蓋側埋入

抄録

前歯修復の審美の鍵が中切歯と犬歯であるとすれば、脇で支えるのが側切歯である。

今回、51才男性で右上側切歯先天性欠損に対してはe-maxブリッジ、30代男性で右上側切歯歯根破折による欠損に対しては抜歯即時インプラントにて欠損修復を終えるに至った。どちらの手法を選択するのがベストなのかは、いずれも長期経過を見なければ結論でないことであるが、長期症例の継続的研究で知られるJ.Lindheらは、ブリッジで何ら問題はないと述べている。

今回は上記の2症例にて諸先生方とディスカッションしてみたい。